

京都で、会いましょう。

I

International

C

Conference

C

Center

Kyoto

2018
Summer

国立京都国際会館

巻頭インタビュー

京都大学大学院理学研究科附属天文台長 柴田 一成氏

人類の存在理由の解明に 繋がる最新の宇宙研究

特集 彩催 Recommended Conference by ICCK

第26回 日本乳癌学会学術総会 市民公開講座

Profile

1954年生まれ。宇宙物理学者。京都大学理学部を経て、同大学大学院理学研究科に学ぶ。1991年から1999年にかけて、国立天文台勤務。1999年から京都大学大学院理学研究科附属花山天文台教授。太陽および宇宙におけるさまざまな爆発現象や活動現象のしくみを、電磁流体力学を用いて統一的に解明する研究に取り組む。

巻頭インタビュー

京都大学大学院理学研究科附属天文台長

柴田 一成氏

人類の存在理由の解明に繋がる最新の宇宙研究

京都大学大学院理学研究科附属天文台の9代目台長であり、太陽宇宙プラズマ物理学の教授である柴田一成さん。太陽研究を基礎にした宇宙の爆発現象の研究に取り組み、宇宙の謎と我々人類の存在の意味を追っています。本日は数々のアマチュア天文家を輩出した花山天文台にてお話を伺いました。

宇宙への興味を持ったキッカケ

木下 博夫 館長 (以下、木下) 日本はアマチュア天文家が多く、文学や音楽の世界でも夜空を見上げながら宇宙の姿に魅力を感じる人が多いと思います。柴田先生は宇宙への興味はどんなきっかけから始まったのでしょうか？

柴田 一成氏 (以下、柴田) 物心付いた頃から私はテレビっ子の走りで、『鉄腕アトム』や『ウルトラマン』に出てくる宇宙人を見たのが興味の始まりです。一方で、同じ頃に「何で生まれたんだろう」「あの山の向こうには何があるのか」など、そういう興味も持っていました。自分が何で生まれたのかを遡っていくと、宇宙ができて、太陽系ができたから地球ができて、そこに生命

が生まれ、進化して人類となったことがわかりました。山の向こうに何があるのかも、その疑問を遡っていくと最終的には宇宙に行き着くのです。結局「自分は何者なのか」「この世界はどうなっているんだろう」ということを理解しようと思ったら宇宙を知ることだと思い、小学校高学年の時に将来は宇宙の研究者になりたいと考えました。中学生の頃にアポロが月に着陸し、大阪万博では月の石を見るために数時間並びましたね。まさに時代は宇宙の時代でした。

太陽フレアを研究解明することの意義

木下 先生の専門分野は、太陽および宇宙におけるさまざまな爆発現象(フレア)の仕組みを解明する研究だと伺いました

が、どのような研究なのでしょう？

柴田 私が大学に入学した頃、宇宙で一番の謎は銀河の中心で謎の大爆発が起きていることでした。大きな研究をしたかった私はそれを解明しようと思ったんです。銀河の爆発は100億光年の彼方で起きており、生きている間に観測で解明することは困難だと思いました。が、本質を知りたかった私は、身近にある太陽の表面でも似たような爆発が起きており、距離が近いので解明できる可能性があると考え、まず太陽の爆発を解明し、それをヒントに遠方の銀河の中心の爆発を解明することにしました。こうして太陽フレアの研究を進めていったところ、衝撃を受けたのは太陽が爆発だらけということです。太陽のコロナ(外層大気)は、100万度の超高温状態で強い放射能であるエックス線を出しています。爆発が起きる時に出る多量の放射線は非常に有害

で、そんな危険な宇宙に我々人類は存在しているのかと思うと恐ろしくなりました。しかし、実は地球上の生命の進化とは、今まで繁栄していた生物がいなくなることで次の生物が生き延び、絶滅を繰り返しながら進化してきたんです。

木下 例えば、恐竜の絶滅の経過も関係しているのでしょうか。

柴田 まさにそうなんです。もし恐竜が絶滅しなかったら、哺乳類は繁栄せず、私たちも生まれていないんです。恐竜の絶滅は巨大隕石の衝突という説が有力ですが、それ以前に4回、生物が絶滅していて、その原因はまだ分かっていません。もしかしたら太陽の大爆発(スーパーフレア)が関係している可能性も考えられます。フレアが起きると大量の放射線が飛んでいくため、それがDNAを壊して進化が早まったのかもしれないのです。現在の天文学最大の謎である宇宙の爆発現象の研究が、実は生命の進化の解明に繋がっているかもしれないのです。さらに、天文学は今、太陽系以外に地球と同じような惑星を続々と発見しているんですね。その惑星に生命体が見つかるかもしれないということが現在の天文学のフロンティアであり、自分が何故ここにいるのかという謎の解明にも繋がっているため、私もワクワクしております。

木下 先生が提唱されている「宇宙天気予報」は世界的にも広がっています。世界の学者がフレアデータの収集や分析をやっていくと、将来に対する予測が随分正確になるかもしれませんね。

柴田 そうなんです。フレアの影響が地球に伝わると、通信障害が起きたり停電が起きたり、人類にとって大災害になりうるんですね。人類の文明はどんどん便利に進化してきているのですが、同時に太陽の爆発によっていとも簡単に壊れやすい社会をつくってしまいました。太陽フレアの発生機構を解明することで地球上で起こる被害を未然に防ぐ、これが「宇宙天気予報」の研究です。

花山天文台の功績と新望遠鏡「せいめい」

木下 この花山天文台ですが、日本のアマチュア天文家を養成される裾野の広い活動にも大変貢献なさっている一方、予算削減

のために閉鎖の危機にあると伺いました。先生は花山天文台の新しい資料館的な要素を含めた構想を考えておられますか？

柴田 まさに、この花山天文台はアマチュア天文学発祥の地で、89年前の1929年に建てられました。初代台長である山本一清博士が日本中の天文好きや子どもたちや市民をこの場所に招き入れ、また天文台活動にも熱心で日本中に出掛けていきました。だからこそ、国内にはアマチュア天文家が数多く存在し、彗星や新星を発見するのも世界で日本が一番多いのです。そして、望遠鏡は古くても性能が落ちないため、1910年に導入されたザートリウス望遠鏡は今も毎日、太陽観測で活躍しています。

私はいろいろな方から花山天文台の素晴らしい歴史を教えていただきました。こんな都会に近い天文台は世界的にも珍しく、特に子どもたちに宇宙の生き生きとした姿を見せる教育を行いたく、花山天文台存続への活動を現在行っているところです。数年前に、閉鎖されていると聞いていたイギリスのグリニッジ天文台を見に行ったところ、古い施設や望遠鏡はちゃんと保存して観光文化になっており、新しいプラネタリウムができて、世界の天文学が分かる博物館としてロンドンの有名な観光地になっています。年間80万人が来場し、世界遺産の1つにもなっています。そこに感動しまして、花山天文台の目指す方向性として、古い施設を残すだけではなく、最新テクノロジーを駆使したプラネタリウムなど、天文学の最先端を紹介するような博物館をついたら、世界中の人が訪れる文化拠点になるのではないかと思います。これを私は、「宇宙科学館構想」と言っています。



45cm屈折望遠鏡を設置する花山天文台本館

木下 岡山県に設置された東アジア最大の望遠鏡「せいめい」がいよいよ稼働目前です。どのような成果を目指しておられるのか教えてください。

柴田 新しい望遠鏡「せいめい」は口径3.8mの世界で一番軽く、性能が良い望遠鏡です。一番のターゲットは宇宙の爆発現

象の解明ですので、いつどこで起きるか分からない爆発に備えて、爆発が起きた瞬間に望遠鏡をすぐ動かせる仕組みになっています。名前は公募で決めたのですが、岡山にも縁がある陰陽師の「安倍晴明」と「生命」から名付けられました。陰陽師は当時の天文博士だったんですね。この「せいめい」は、これまで見られなかった爆発直後の姿やブラックホールができる瞬間を観測できるものであり、スーパーフレアの解明を進めると対策が取れるので、ひょっとしたら人類を守ってくれる望遠鏡になるかもしれないですね。

今後の宇宙研究と国際会館の役割

木下 この秋、15回目となる地球観測に関する政府間会合(GEO)本会合が国立京都国際会館において開催されます。研究を進めるために会議場が担える役割として、会議の運営の仕方についても研究者間が楽しく語らえる方法を併せて考えていくことも我々国際会館の仕事かもしれないと感じています。国際会館は開館から52年経ちまして、もちろん会議の開催も重要ですが、世の中にとって将来を見たテーマの選択に取り組み、研究成果を発表し合えるようなサロン機能を持たしていきたいと思っています。

柴田 そうですね、ぜひ私たち宇宙研究も連携させていただきたいと思います。私の後輩の若手研究者が、宇宙関係で1,000人規模の世界的な国際会議の誘致を考えており、京都で開催するのが良いのではないかと検討しています。自分達の仕事は、成果を次の世代にいろいろ残していくことだと思っており、研究を進めつつ若い人々に伝えていく場として、国際会館を利用していただこうと考えております。

インタビュー 木下 博夫

国立京都国際会館 館長
1943年生まれ。国土事務次官、阪神高速道路(株)社長などを経て、2012年3月から館長・常任理事を務める。

第26回日本乳癌学会学術総会 市民公開講座



5月16日～19日、第26回日本乳癌学会学術総会（会長 京都大学大学院医学研究科外科学講座 乳腺外科学 戸井雅和氏）が開催されました。国内外から多くの専門家が参加し、発表や講演、シンポジウムなどが行われました。そして最終日には、市民公開講座が企画され、たくさんの人々が乳がんについての理解を深めました。



日本乳癌学会学術総会では、毎回開催地近郊の市民の方を対象に、乳がんの啓発活動をしています。今回の主な内容は2つあります。1つは、「敵を知り己を知れば百戦あやうからず」。遺伝のことについてお話をいただきます。もう1つは、「備えあれば憂いなし」。乳がんは検診を受けて早期に発見できれば大事に至らないがんです。今日の話聞いて、検診を受けていただければと思います。



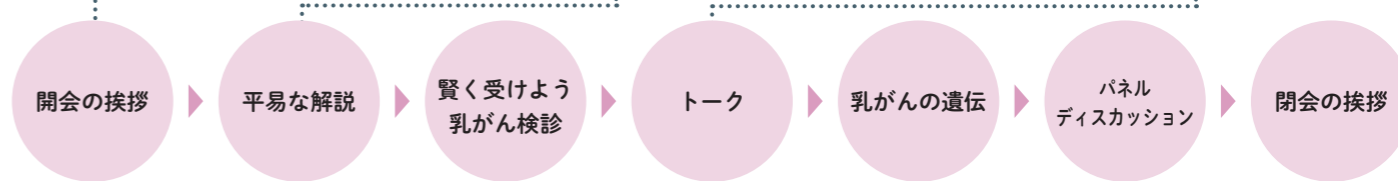
京都乳癌研究ネットワーク

京都乳癌研究ネットワークの先生方より、乳がんを理解するためのレクチャーが行われました。大阪赤十字病院乳腺外科・露木茂氏「乳がんの疫学」、京都第一赤十字病院乳腺外科・李哲柱氏「乳房の構造」、日本赤十字社和歌山医療センター乳腺外科・芳林浩史氏「乳がんの診断」、神鋼記念病院乳腺センター・山神和彦氏「乳がんの治療」と、4つのテーマについて解説がされました。



藤山直美氏
女優

2017年3月に乳がんの手術を受け、治療が続いている女優の藤山直美氏によるトークが行われました。がんと告知された時の驚き、そして手術や抗がん剤・放射線治療についての体験を語っていただきました。その明るく、前向きな言葉に、会場全体が勇気づけられ、和やかなムードに包まれました。



早期発見に勝る 予防はなし 検診を理解して受診を

鈴木 昭彦 氏
東北医科薬科大学 乳腺内分泌外科

乳がん検診は、1987年に法律が整備され、視触診での検診が始まりました。2000年からは、50歳以上にマンモグラフィが導入され、2004年には、40歳以上を対象に、2年に一度という国の方針になりました。これが現在の日本の検診のスタンダードです。

乳がんが見つかった場合、非浸潤の状態である0期で手術をすれば、10年後の生存率はほぼ100%、リンパ節に転移をしてない小さながんであれば、10年後の生存率は95%以上です。小さながんを早期に発見できれば、入院費や治療に関する費用、入院外の費用を抑えられます。再発の危険性も非常に低いです。ステージ3ぐらいのがんになると、入院費用もかかりますし、お金のかかる治療をしても再発の危険性は高いです。

乳がん検診は死亡率の減少という利益、*もありません。*検診には、利益、不利益があり、マンモグラフィも万能ではありません。検診で見逃されてしまう危険性（偽陰性）や、がんとの区別がつきにくい良性のしこりが見つかり、再検査を受ける（偽陽性）、成長が遅く、命にはほとんど影響がないがんまで見つけて手術をする（過剰診断）などです。

検診時に発見できず、次の検診が来る前に自覚症状が出現して発見される「中間期がん」もあります。これは見えるものがあつたのに、見落としただけではなく、先の検診では見えないがんもあるということです。マンモグラフィの検診では、50歳、60歳代は90%近く発見できますが、39歳～49歳に限ると、やや効果が弱くなります。原因は「高濃度乳房」です。40歳代の若い人の画像では、白く映る乳腺のなかに腫瘍が隠れてしまい、見つけにくいのです。高濃度乳房の場合、超音波検査を追加する研究がすすまられています。

早期発見に勝る予防はありません。乳がん検診を受けてください。検診には、利益、不利益があり、マンモグラフィも万能ではありません。検査結果を過信せずに異常を感じたら、専門の施設で見てもらう柔軟性も必要です。

早期発見に勝る予防はありません。乳がん検診を受けてください。検診には、利益、不利益があり、マンモグラフィも万能ではありません。検査結果を過信せずに異常を感じたら、専門の施設で見てもらう柔軟性も必要です。



遺伝的な がんリスクの解明も 進んでいます

山内 英子 氏
聖路加国際病院 乳腺外科

家族や親戚にがんの人が多く、「うちががん家系」「がん体質」と言ったりしますね。乳がんや卵巣がんになりやすい遺伝子があることが分かっています。遺伝子とは体の設計図だと思ってください。設計図が少し違っていても何の影響も及ぼさないこともあります。影響を及ぼす変異を持っていることを「遺伝子変異が陽性」と言ったりします。

変異には、親から子へと引き継がれる「生殖細胞系列の変異」と、後天的な変異がある「体細胞変異」の2種類があります。「生殖細胞変異」の遺伝性の乳がん・卵巣がんに関連する代表的な遺伝子に、BRCA1とBRCA2があります。若い年齢で乳がんを発症する、両方の乳房にがんが発症する、何回も乳がんを発症する、乳がんと卵巣がんの両方を発症するといった特徴がみられます。

親から子へと遺伝するというと、「この遺伝子変異があつたら、娘も?」と心配になると思います。子どもは父親と母親から1つずつ遺伝子をもらうので、変異のある遺伝子を持っている可能性は50%。この遺伝子変異があると、卵巣がん、乳がんになるリスクは高くなります。若く年齢からの検診が必要になります。

予防的切除についても言われています。乳がんを経験した人で、遺伝子変異があり、再び乳がんのリスクが高い方は、カウンセリング体制の整備などを条件に、がんでないほうの乳房の切除を強く推奨すると乳癌学会のガイドラインが改訂されました。とは言え、手術に伴うリスクや心理的な負担もあります。また、予防的乳房切除で乳がんの再発が100%ないということではありません。ですから決して、予防的切除をやらなければならぬ、ということではありません。各個人が十分に検討した上で、そういった選択肢を選ぶこともできる体制を整えることが必要だと考えています。

マンモグラフィは痛みを伴います。マンモグラフィの機械の工夫はされないのでしょうか?あのガラス板はなんとかありませんか? 鈴木氏 ガラス板の工夫は、少し角度をつけるようにして圧力を逃がすなど頑張っています。マンモグラフィは押さえつけることで、ぶれない写真を撮ることが出来ます。厚みも大切です。5cmを4cmにできれば、撮影に必要な放射線量を半分に減らすことができ、被ばくを低減できます。いい診断にはいい写真が必要なので、協力してほしいと思います。

検査、遺伝、診察……来場者からの質問にお答えいただきました



——マンモグラフィは痛みを伴います。マンモグラフィの機械の工夫はされないのでしょうか?あのガラス板はなんとかありませんか?

鈴木氏 ガラス板の工夫は、少し角度をつけるようにして圧力を逃がすなど頑張っています。マンモグラフィは押さえつけることで、ぶれない写真を撮ることが出来ます。厚みも大切です。5cmを4cmにできれば、撮影に必要な放射線量を半分に減らすことができ、被ばくを低減できます。いい診断にはいい写真が必要なので、協力してほしいと思います。

——経過観察をすることで治療開始が遅れることは最も心配です。一度は大丈夫と言われても定期的に検査を受けた方がよいのでしょうか?

戸井氏 これもなかなか難しい質問です。異常はないといわれ、経過観察をしているなかで悪性の診断を受けた人が多くおられます。

鈴木氏 経過観察の内容を確認する

【同会】戸井 雅和氏 【パネリスト】中村 清吾氏、鈴木 昭彦氏、山内 英子氏 ことが必要です。経過観察していたのに、がんになったわけではないと思います。経過観察しなければがんの発見が遅れてしまいます。しかるべき時に、しかるべき間隔で検査を受けられるのがよいと思います。

——遺伝子検査を受けた方がいいと言われた。したほうがいい条件や状況は?遺伝子検査はどういう方が受けるのかは専門家の間でも意見がいろいろあるとのことですが。

戸井氏 ここからは、今日の後半に関する質問です。トリプルネガティブ乳がんと、50代前半で診断を受けた方からの質問です。

山内氏 がん家系にもいろいろな遺伝子があることが分かっています。どのようながんの方が多くか家系図を書いてみれば、可能性のある遺伝子がある程度想像できる場合があります。また、遺伝のカウンセリングに行く、どういう可能性があるか説明してくれます。女性のきょうだいが少ない、親戚同士で病気についてオープンにする機会が少ないなど、家族歴にもトリックがあります。親戚が集まった機会に、聞いていただけたらと思います。

戸井氏 実際に診療をしていますと、



乳がん制圧を 目指す一歩に

戸井 雅和 氏
第26回日本乳癌学会学術総会会長
京都大学大学院医学研究科
外科学講座 乳腺外科学

今回は、乳がんに対する研究、診療の問題の解明、そして新しい治療の開発が進んでいることを実感した学術総会となりました。どんな臨床試験かについて患者さんに参加してもらってミニシンポジウムも行いました。これはまだ小さい動きかもしれませんが、おそらく今後大きくなると思います。Stand Up to Cancerという世界的な大きな動きがあります。Stand Up to Breast Cancer、乳がんはなかなか撲滅できる病気ではありませんが、制圧して行こうということにつながる機会になったと思います。最後までお付き合いいただき、ありがとうございました。

第16回 アジア泌尿器科学会
第106回 日本泌尿器科学会総会

2018年4月17日 — 4月22日



第16回アジア泌尿器科学会と第106回日本泌尿器科学会総会が「Discover Tomorrow of Urology: 泌尿器科の未来をつかめ」をテーマに同時開催され、アジアの21カ国から約8,400名が参加しました。

初日の開会式では大会長小川修先生の挨拶の後、京都橘高校吹奏楽部マーチングバンドが演奏を披露し、式典を盛り上げました。6日間の学術集会では医療技術の進展やITなどの情報科学の発達に伴いグローバル化が進む中、地域間での格差など解決すべき様々な課題について討議しました。アジアはもとより、米国、欧州を代表する泌尿器科学会からの演者を招聘し、今後の泌尿器科領域における展望を国際的な視点から見つめ直す機会となりました。

第26回 日本乳癌学会学術総会
および市民公開講座

2018年5月16日 — 5月19日



第26回日本乳癌学会学術総会が「Creative Japan 新たな時代」をメインテーマに開催されました。約6,000人の参加者があり、中心的トピックスに関する国内外の専門家による招聘講演などで大変盛況でした。また、乳癌診療ガイドラインが大幅に改訂され、今回は最初の討議の場になりました。5月16日から19日の4日間に、乳癌の研究、診断、治療、予防、教育、啓蒙など各分野の新知見が発表され、医療従事者だけでなく幅広い分野からの参加者も含め活発な意見交換がなされました。後半にはKyoto Breast Cancer Consensus Conferenceが連結開催され、乳癌の局所療法についてグローバルコンセンサスの形成が行われました。最終日には、「乳癌をいかに早く見つけるか」「乳癌と遺伝」をテーマに市民公開講座が開催され、一般市民との情報共有の場ができました。

市民公開講座の特集は P.3

INFORMATION

vol.08

ニューホール建設工事

ついにニューホールが完成!!

約2年の間、建設工事を進めてきたニューホールが、ついに完成しました。10月より皆様にご利用いただけます。隣接するイベントホールとともに、緑あざやかな比叡の山並みに調和する外観、そして会議の合間などのひと時をゆったりとお過ごしいただける豊かな空間となりました。

ニューホールには、地元自治体である京都市と連携し、京都らしい伝統産業の技を駆使した様々な設えを施し、皆様をお迎えいたします。

本工事につきまして、近隣の皆様、関係者の方々には、多大なるご理解とご協力賜りましたこと、心より感謝いたします。

駐車場のご利用について

引続き駐車場の舗装整備を進めてまいります。駐車場のご利用につきましては制限がございます。ご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解とご協力の程よろしくお願いたします。詳しくは、当館ホームページをご確認ください。



ニューホール外観



ホール場内

TOPICS

国立京都国際会館がファイナリストに選ばれました!
2018 Global Digital Infrastructure Award



▲京都らしさをアピールするIMEX 2018のKYOTOブース

今年5月にドイツのフランクフルトで開催された「IMEX2018(国際MICE見本市)」に合わせ「2018 Global Digital Infrastructure Award Ceremony」が開催され、「Convention Centre」部門において京都国際会館がファイナリストに選ばれ、表彰されました。

「Global Digital Infrastructure Award」は、世界のPCO(コンベンションの企画・運営専門企業)やイベント運営会社が加盟する団体「INCON」主催で、世界で優れたデジタルインフラを備える施設を選定し、表彰するものです。受賞施設をケーススタディーとして世界中の施設が切磋琢磨し、より良いサービスを提供することが目的とされています。審査委員にはデジタルインフラに精通する有識者を迎え、施設が備えるデジタルインフラの「質」「使いやすさ」「価格」「トラブル対応能力」「革新性」に着目し選考されます。応募施設の中で、京都国際会館はお客様の幅広い要望に対応する通信・ネット環境を備えていること、また施設として優れた技術と設備を有することで、その冗長性に優れたトラブル対応に強いことが高く評価されました。

ニュージーランド学生ラグビーチームによる視察会



京都で開催された「ムロオPresents NZU 来日記念試合」に出場したラグビーのニュージーランド学生代表メンバーが、試合前日の5月2日に下鴨神社で勇壮な民族舞踊「ハカ」を披露した後、国立京都国際会館に来館し、館内視察を行いました。

まず学生達は宴会場スワンにて、昼食のサラダやカレーライスをおかわりするなど和やかな食事を楽しみました。その後の国際会館内の視察では建築と館内の調度品に高い関心を示し、また、メインホールでは1階から4階傍聴席に至るまで特有のデザインである国際会議場の雰囲気を感じていました。日本庭園の散策と茶室「宝松庵」の見学では、日本の情緒豊かな趣に興味関心を持ち、散策中の随所で記念写真を撮るなど、各自有意義な時間を過ごされました。

PICK UP ピックアップイベント

第5回 国際組織工学・再生医療学会世界会議2018-京都

2018年9月4日 — 9月7日

「再生医療」とは、体本来のもつ自然治癒力を高めて病気を治す試みであり、体にやさしい理想的な治療法として多くの人からの期待が寄せられています。本世界会議は3年に一度開催されており、国内では初めての開催です。再生治療と再生研究とからなる再生医療領域を工学、医学、薬学、理学などの立場から全体的に鳥瞰できるプログラムが予定されています。

きょうされん第41回全国大会in京都

2018年9月21日 — 9月22日

日本が「障害者権利条約」を批准してから5周年の節目となる今年、きょうされん全国大会が19年ぶりに京都で開催されます。この大会を通して障害のある人たちが暮らしに困難を抱えている人たちの実態や願いを多くの人びとと共有し、「障害者権利条約」で謳われている、誰もがわけへだてなく安心して暮らせる社会を目指します。

催事名 Pick up …ピックアップイベント (p.6参照)	日程
第91回 日本薬理学会年会 / 第18回 国際薬理学・臨床薬理学会議	7月 1日 - 6日
あすか会議 2018	7月 7日 - 8日
平成30年度京都府PTA指導者中央研修会	7月 10日
2018年 公認スポーツファーマシスト基礎講習会 (京都会場)	7月 15日
第16回 技術講演会	7月 18日 - 19日
乾杯の夕べ2018 ~ボンジュール・フランス!~	7月 20日 - 21日
第27回 液晶国際会議	7月 22日 - 27日
第6回 日本糖尿病療養指導学術集会	7月 28日 - 29日
一般社団法人日本磁気共鳴医学会第40回MR基礎講座	8月 4日 - 5日
平成30年度 全日本珠算選手権大会	8月 8日
第8回 インテンシブコース	8月 18日 - 19日
第23回 学校臨床心理士全国研修会	8月 26日
第12回 小児科専門医試験	9月 1日 - 2日
Pick up 第5回 国際組織工学・再生医療学会世界会議2018-京都	9月 4日 - 7日
平成30年度 アルコール・薬物依存関連学会合同学術総会	9月 9日 - 10日
19th Congress of the International Society for Biomedical Research on Alcoholism (ISBRA2018)	9月 9日 - 13日
17th Biennial Meeting of the International Gynecologic Cancer Society	9月 14日 - 16日
Pick up きょうざれん第41回全国大会in京都	9月 21日 - 22日
第91回 日本生化学会大会	9月 24日 - 26日
一般社団法人日本認知症ケア学会 市民公開講座	9月 29日
科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム(STSフォーラム) 第15回年次総会	10月 6日 - 9日
日本放射線腫瘍学会 第31回学術大会	10月 11日 - 13日
地球観測に関する政府間会合(GEO) 第15回本会合	10月 30日 - 11月 2日

上賀茂神社 市バス「上賀茂神社」下車すぐ

平安京の造営以前からの歴史があり、京都で一番古い神社とも言われます。正式名称は「賀茂別雷神社」。毎年5月の葵祭(賀茂祭)は平安時代から続く神事で、「源氏物語」に描かれる「車争い」のシーンが有名です。世界文化遺産。



煮てよし 揚げてよし
滋味豊かな「ナスの女王」



地域をぐるっと
味わい 探訪
賀茂なす

洛北・上賀茂地域の特産品として親しまれる賀茂なすは、その歴史をひもとくと、江戸時代前半17世紀の文献にまでさかのぼります。京のおばんざいとしても、「賀茂なすの田楽」は人気の品です。むっちりとし引き締まった肉質で弾力があり、「京の伝統野菜」として手塩にかけて育てられた滋味のある味わいは、京の白味噌仕立てのこっくりと甘い田楽味噌にぴったりです。美味しいだけでなく、煮ても焼いても崩れず、揚げても油を吸いすぎないなど、なかなかの優れたもの。「ナスの女王」とも呼ばれる人気の京野菜です。

京の三大祭の一つである上賀茂神社の「葵祭」では、賀茂なすの奉納式も行われるなど、地域に根づいた京の味覚です。

表紙：写真は比叡山を望むアプローチ。周囲を夏の襲(かさね)の色目「蓬」をイメージした、濃萌黄に薄萌黄の「青海波」で彩りました。